

沿岸域海況図の作成技術開発

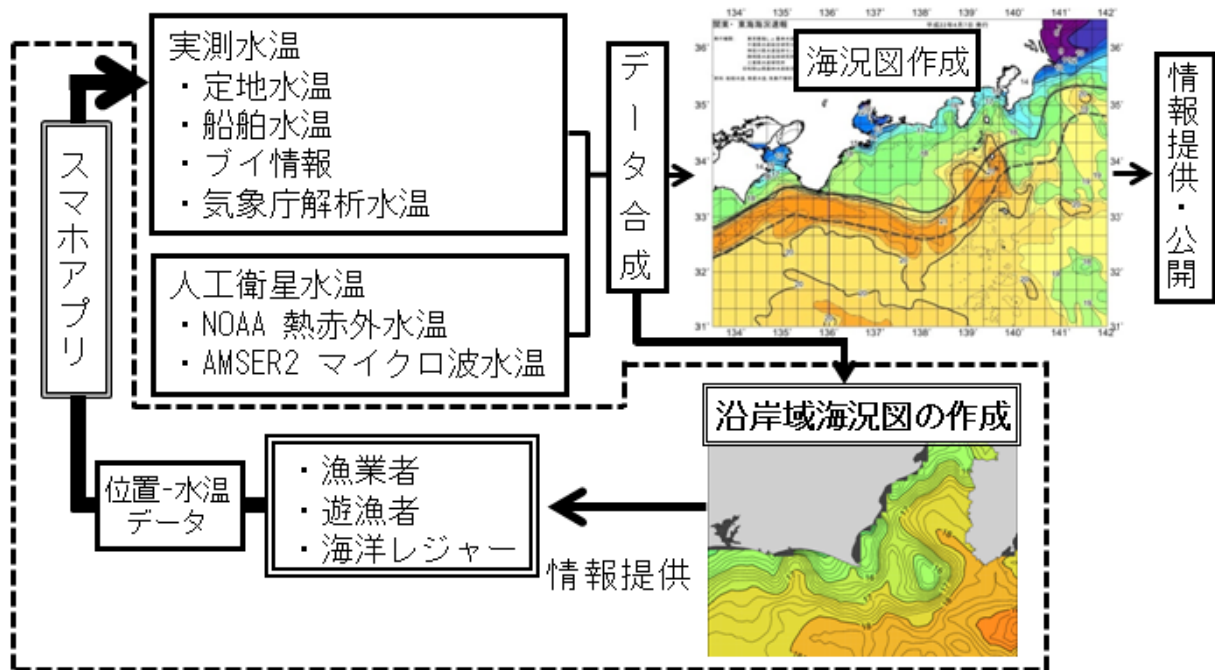
海域利用者からのスマートフォンアプリを活用した迅速情報収集

(予算区分 県単 研究期間 平成 26～28 年度)

担当：水産技術研究所 資源海洋科 高木康次

【研究の背景とねらい】

- ・水産技術研究所では漁業者の操業支援のため、本県沿岸・沖合海域の毎日の水温分布と黒潮位置を表す「関東・東海海況速報」を発行しており、漁業関係者に利用されています。
- ・沿岸域で操業するシラス・サクラエ船曳網漁業や定置網漁業、カツオやタチウオ釣漁業、旋網漁業、イセエビ刺網漁業などでは、日々の水温分布や暖水波及が漁場形成に大きく影響するため、より詳細な水温分布図を必要としています。
- ・そのため、本研究では精度が高い沿岸域の海況図を作成する技術を開発します。



研究の全体イメージ図 (点線部分が開発する内容)

【期待される効果】

- ・沿岸域の詳細な海況情報が毎日得られることで漁場形成の予測に活用され、沿岸漁業の操業の効率化が図られます。
- ・海域利用者との情報交換により、沿岸域海況図の利用者が増えるとともに、県民の海への理解が深まります。

【年次計画】

細目課題	26 年度	27 年度	28 年度
○沿岸域海況図作成技術の開発	○	○	
○スマホアプリによる水温情報収集開発	○	○	
○沿岸域海況図の発行			○

(作成 平成 26 年 4 月)